

研究機関名：旭川医科大学

|              |   |
|--------------|---|
| 承認番号         | 21095   |
| 課題名          | メルケル細胞癌の予後因子についての臨床学的、組織学的検討  |
| 研究期間         | 倫理委員会承認日～ 2026年 3月31日   |
| 研究の対象        | 1990年1月から2021年7月までに、旭川医科大学および関連施設で皮膚生検または切除によりメルケル細胞癌の診断となった方   |
| 利用する試料・情報の種類 | <input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細： 年齢、性別、診断名、基礎疾患、臨床写真等 ）<br><input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： 皮膚 ）<br><input type="checkbox"/> 血液<br><input type="checkbox"/> その他（ ）   |
| 外部への試料・情報提供  | <input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみで使用<br><input type="checkbox"/> 他施設共同研究グループ内（提供元：）<br><input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提出方法： ）  |
| 研究組織         | 〈代表機関〉<br>旭川医科大学皮膚科学講座 井川哲子   |
| 研究の意義、目的     | <p>高齢者の頭頸部にできやすいメルケル細胞癌は、一般的に予後が良くないと考えられていますが、その一方で、自然消退し予後が良好な例がまれにあります。しかし、自然消退した後でも転移する例もあり、メルケル細胞の予後を予測するのは困難です。予後を予測する因子についていくつか報告はありますが、有用性は確定していません。本研究では、当院および関連施設から、過去に診断目的に提供して頂いた病理組織を用いて今まで報告のあるいくつかの予後予測因子の発現を調べ、患者さんの臨床情報と照らし合わせてその有用性を検討します。</p> <p>メルケル細胞癌の予後予測因子がわかることにより、より適切な治療の選択に貢献することを目的としています。</p> |
| 研究の方法        | <p>過去に当院または関連施設で、診断および診療目的に皮膚生検または腫瘍切除を受けた患者さんの皮膚を研究に使用させていただきます。病変の一部をサンプルとして使用し、過去に報告されたメルケル細胞の予後推定因子の発現を調べるため組織を染色し、病理組織学的検討を行います。</p> <p>診療記録から、臨床症状、治療歴、経過、病理検査を集計して解析を行います。</p>   |
| その他          | 特記事項はありません。   |
| お問い合わせ先      | <p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記</p>   |

の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

**【連絡先】**

旭川医科大学病院皮膚科

住 所：旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号

電 話：0166-68-2523

**【研究代表者】**

井川 哲子 旭川医科大学病院皮膚科 講師

**【研究分担者】**

佐藤 祐樹 旭川医科大学病院皮膚科 医員

松尾 梨沙 旭川医科大学病院皮膚科 助教

岸部 麻里 旭川医科大学病院皮膚科 准教授

山本 明美 旭川医科大学病院皮膚科 教授